

## 特許出願公告及特許拔萃

## 特許出願公告拔萃

**磁性合金の改良** (13年特許公告第860號, 公告13-3-7, 仙臺市, 金屬材料研究所長) 弱き磁場に於て從來公知のものよりも尙一層高き初導磁率を有し且高き電氣比抵抗を有し製造加工頗る容易なる磁性合金を得る目的を以て, 鐵 5~30% ニッケル 60~95% クロム 1~6% チタニウム 0.1~2% 錫 0.1~1.0% を主成分として含有する磁性合金。

**耐熱耐酸合金層の形成法** (13年特許公告第861號, 公告13-3-7, 東京市, 野口弘一) 鐵鋼ニッケル又は夫等を含む合金の皮部に優秀なる耐熱性耐酸性並に高硬度を有するアルミニウムと鐵又はニッケルとの固溶體を迅速且均一に生成せしめんとする目的を以て鐵鋼ニッケル又は夫等を含む合金を熔融アルミニウム内に浸漬し置き兩者の接觸部に水素一酸化炭素及メタンガスの一様又は二種以上より成る混合ガスを吹込みて前者に觸れしめたる後熔融アルミニウムより取出して附着アルミニウムを分離除去することを特徴とする耐熱耐酸合金層の形成法。

**電弧熔接方法** (13年特許公告第874號, 公告13-3-7, 東京市, 株式會社芝浦製作所) 彎曲せる電柱を使用し電弧の長さ及方向熔接部の大きき位置を簡單且容易に制御し得る改良方法を提供する目的を以て熔接中逐次に消費せらるゝ電氣絶縁熔劑被覆を有する彎曲電極の凸側を熔接線と平行に加工體に逐次に當て前記電極及加工體間に電弧を發生せしめ前記電極を其凸側の加工體に接する點を支點として回動し熔接電弧の長さ又は幅を制御すべくせる電弧熔接方法。

**軸承の製造方法** (13年特許公告第898號, 公告13-3-9, 獨逸國, アドモス, ブライブロンツエ, ドクトル, スプリング, オルム, ウント, コムパニー, コマンドイト, ゲゼルシャフト) 高速度運轉用軸承の製造方法を改良し軸承殼と其の裏裝とを確實緊密に着合せしめんとする目的を以て, 不硬化性鐵製の軸承殼を熔融せる硼砂浴内にて1,050~1,085°Cに加熱し而して之を鑄型内に挿入し之に軸承裏裝を構成する熔融金屬を注入し然る後該型を内容物と共に冷水中に投入することにより急冷せしめ而して軸承を前記鑄型より取外したる後仕上げ加工をなすを特徴とする銅鉛合金製裏裝及薄銅製被覆を有する軸承の製造方法。

**骸炭爐の廢熱を利用する石灰石焙燒爐** (13年特許公告第899號, 公告13-3-9, 東京市, 關幸雄) 骸炭爐中に於ける上方よりの放射熱を強大ならしめ良質の硬質骸炭を得ると共に其の餘熱を石灰石爐中に導きて利用し併せて石灰石の焙燒に要する燃料費を節約せんとする目的を以て, 骸炭爐の上部に其の上壁を底壁とする二次燃焼室を重設し該燃焼室に骸炭爐中にて發生する未燃焼ガスを導入して二次通風の下に完全燃焼を遂げしめ其の火焰を石灰石爐内に導きて之を該石灰石爐底より稍上方の中間位置に於て爐内周壁並に爐内に立設せる圓筒周壁より多數の透孔を通して放出せしむべくならしたる骸炭爐の廢熱を利用する石灰石焙燒爐。

**コークス爐兼用石灰燒成爐** (13年特許公告第900號, 公告13-3-9, 東京市, 白石靜夫) 石灰爐の燃焼室の火力を調節し燃焼の程度を外外部より觀測することを得しめ石灰製品の取出を容易ならしむると共に石灰の製造時間を短縮せしめ同時にコークスを製造する燃料のみに依りて石灰を製造することを得るに適するコークス爐兼用石灰燒成爐を得んとする目的を以て, コークス爐(12)と椀狀を

形成し支軸(14)の溝狀部に耐火粘土(19)を充填塗布したるロストル(13)を石灰燃焼室(1)の底部に裝備し其側部下端に石灰の取出口(7)を設け燃焼室(1)の上端に上方に向てのも中央部より曲折(16)し得る調節板(4)を設けたる石灰燒成爐とをコークス爐(12)の餘熱排出孔部(10)に於て結合せしめたることを特徴とするコークス爐兼用石灰燒成爐。圖省略

**炭素電極豫備燒成裝置** (13年特許公告第910號, 公告13-3-9, 東京市, 衛藤久市) 電極より發生せらるゝ揮發分を有効に利用し電極表面に龜裂及斑點を有せざる優秀なる電極を製造すべき豫備燒成裝置を得る目的を以て, 複數の相隣る分房を有する燒成爐の各分房にガス燃焼器を附設し各分房を順次通路によりて連通し最後の分房よりの排ガスを送風機により最初の分房に送還し是れに酸素を補給して反復燃焼せしむべき循環系統を構成し多孔金屬板製ケース内に電極を收納し粉狀骸炭を充填して前記各分房内に入れ燒成を行ふ様構成せられたる炭素電極豫備燒成裝置。

**鑄鐵管に鉛裏張を施す裝置の改良** (13年特許公告第917號, 公告13-3-11, 大阪府, 久保田權四郎) 完全なる鉛裏張を有する鑄鐵管を容易に製造し得る簡單なる裝置を得んとする目的を以て, 鑄鐵管内に挿入したる鉛管を其の一端に於て鑄鐵管に緊定する裝置と前記鉛管内に其の緊定端より他端へ鉛管擴大器を引通する裝置とより成り該鉛管擴大器は彈性腕を以て取付けたる分割彈性環を其の切目が前後重複せざる様二段以上設けて成ることを特徴とする鑄鐵管に鉛裏張を施す裝置。

**タングステンを含む錫精鑄の處理方法** (13年特許公告第927號, 公告13-3-11, 東京市, 三菱鑛業株式會社) 不純物を多量に含有する山錫精鑄より比較的簡單なる操作に依りて容易に且經濟的にタングステンをタングステン鐵其の他のタングステン化合物の原料に適する純度高きタングステン酸カルシウムとして分別採取し得しむる目的を以て, タングステン其他の不純物を含む錫精鑄を酸化焙燒して不純物の一部を除き次に焙燒物に曹達灰を添加して再焙燒し焙燒物を溫湯を以て抽出して得られたるアルカリ度0.4~0.7規定の溶液に室溫に於て硫酸銅溶液を加へて含タングステン溶液中に來れる鑛石中の殘餘の不純物砒素を沈澱せしめて之を濾別し濾液に鹽化カルシウム溶液を加へてタングステンを純度高きタングステン酸カルシウムとして回収し他方錫精鑄を得る方法。

**熔接方法** (13年特許公告第928號, 公告13-3-11, 大不列, 顯國, バブコック, アンド, ウイルコックス, リミテッド) 移動せしめ難き程大なる球體, 導管, タンク等の中空體を被覆電極を以て天井接ぎに依らず簡單容易に熔接し得べからしめんとする目的を以て, 曲線狀斷面を有する中空體の銜合せ部分を被覆電極を用ひて熔接する方法に於て熔接接目の接合部を一部分は外方向に一部分は内方向に横開せしめ右外向接合部と内向接合部との接點を小薄片を介在して熔接したる後其部分を除去して楔形空所を形成せしめ之に熔接金屬を下方より上方へ次第に狭小なる小平層として填充せしむることを特徴とする熔接方法。

**銅粉製造方法** (13年特許公告第965號, 公告13-3-14, 逓信大臣) 金屬黒鉛刷子の製造に適する多角形粒狀の銅粉を得んとする目的を以て, 銅に銅と固溶體を造るよりも多量の鉛の適量を加へて熔融し之を微粉に粉碎することを特徴とする銅粉製造方法。

**防錆塗料製造法** (13年特許公告第966號, 公告13-3-14, 東

京市、日本化工ペンキ株式会社) 通常の溶剤に溶解し難き程度に縮合反應の進みたる漆及フェノールを材料とせる合成樹脂及び重合酸化油を顔料と共に油質中にコロイド状に分散せしめ以て耐水耐酸、耐アルカリ性に富み防錆力強く迅速に乾燥する製品を得る目的を以て、乾燥性油を加熱しつゝ空氣を吹き込み充分重合酸化し溶剤に難溶性のゼリー状となし別に生漆及フェノール類をクロム酸の金屬鹽の存在の下にフォルマリンにて常溫に於ては固結する程度まで加熱縮合せしめ同時にクロム酸金屬を均質に分散し其一部分を縮合生成物と結合せしめ防錆性を附與せるものと混じ之をトリクロールエチレンの如き溶解力強き溶剤にて膨潤せしめたる後加熱ロールに依りボイル油又は油性ワニス並に防錆性顔料と共に混捏し重合酸化油、生漆及フェノール類のフォルムアルデヒド縮合生成物並に顔料を油質中にコロイド状に分散せしめ更に揮發性溶剤にて稀釋することを特徴とする防錆塗料製造法。

**海綿鐵を鍊鐵塊に加工する方法** (13 年特許公告第 998 號, 公告 13-3-16, 滿洲國, 株式會社昭和製鋼所) 簡單なる處理に依り硫黃分少なき鍊鐵塊を得んとする目的を以て、鍊鐵塊形成帶に於ける海綿鐵の部分的酸化を酸素、炭酸又は水を放出する物質の添加に依り行ふ事の特徴とする廻轉管爐中に於て海綿鐵又は鐵鑛石及燃料を鍊鐵塊に加工する方法。

**電氣分銅泥漿處理裝置** (13 年特許公告第 999 號, 公告 13-3-16, 東京市, 日本鑛業株式會社) 電氣分銅泥漿の酸化焙燒に當り泥漿の鍍化熔融を防止しつゝ銅分を酸化し同時にセレン分の酸化揮發を促進し單一焙燒操作に依り之等揮發性元素の分離回收を完全に焙燒廢物よりの金銀分の精製を容易ならしむべき裝置を得んとする目的を以て、内部に多孔式空氣噴射管を挿入せる外火式回轉焙燒罐と昇華室とコックトール式電氣收塵裝置と排風機とを順次直列に連通し前記昇華室と電氣收塵裝置との接續部には昇華室よりの排出ガスに適當なる濕度を賦與するための濕度補給裝置を裝備せることを特徴とせる電氣分銅泥漿處理裝置。

**硬質合金製造方法** (13 年特許公告第 1000 號, 公告 13-3-16, 神戸市, 株式會社川西機械製作所) 簡單なる方法に依り高温加熱によるタングステンカーバイドの粒成長を部分的ならしめ以て工具用として優秀なる硬質合金を得る目的を以て、適量の過剩カーボンを含むタングステンカーバイドと接着劑との混合粉末中にアルカリ金屬又はアルカリ土類金屬のタングステンブロンズ 2% 以下を混入せしめたるものを壓搾形成燒固する事の特徴とするアルカリ金屬及アルカリ土類金屬を含まざる硬質合金製造法。

**保護被層を有する鋼版製造方法** (13 年特許公告第 1001 號, 公告 13-3-16, 西宮市, 津村芳三, 外 2 名) 寒暖何れの場合に於て切斷曲折するも剝離する事なく而も表面は堅靱にして毫も龜裂を生ずる事無き耐酸耐水耐熱及防銹效果完全なる被覆鋼版を得んとする目的を以てアスファルト、コールタール又はピッチ及クレール等を熔融混合して成る泥狀液を帶同せしめたる布又は紙を 350~450°C に加熱したる鋼版の一面又は両面に重着せしむる事により布又は紙を燒付狀態に鋼版上に被覆密着せしむる事の特徴とする保護被覆を有する鋼版製造方法。

**電解ベリリウムに炭素又は炭素含有物の混入を防ぐ方法** (13 年特許公告第 1032 號, 公告 13-3-18, 東京市, 加藤與五郎) 鹽化ベリリウム製造の困難を排除せんとするに當りベリリウムの陰極上に析出と共に甚だ起り易き炭素又は炭素含有物の嫌忌すべき混入を防止し純良なるベリリウム銅合金製造を經濟的に行はんとする

目的を以て、熔融鹽化物内に酸化ベリリウム及還元劑を存在せしめ、特に銅を陰極となして電解を行ひ金屬ベリリウムを銅陰極中に浸入せしむることを特徴とする電解ベリリウムに炭素又は炭素含有物混入物を防ぐ法。

**波形模様ある裝飾用鐵板の製造法** (13 年特許公告第 1033 號, 公告 13-3-18, 大阪市, 小松原久治) 表面に被紋を有し趣に富む鐵板を容易に作り之を裝飾用に供せんとする目的を以て苛性アルカリ溶液中にて鉄力を電氣分解し表面に波形模様を現出せしむる工程と之に透明ニスを塗布して防錆する工程との結合を特徴とする波形模様ある裝飾用鐵板の製造法。

**ディーゼル機關用燃料のセテン價向上法** (13 年特許公告第 1034 號, 公告 13-3-18, 徳山市, 秋田稷) 簡單なる處理に依りてディーゼル機關用燃料のセテン價を向上せしめんとする目的を以て、重油輕油頁岩油及其他のディーゼル機關用燃料と酸素或は空氣との混合物に無聲放電を作用せしめて燃料油の一部を過酸化に變化せしむるディーゼル機關用燃料のセテン價向上法。

**鑛物電氣選別裝置** (13 年特許公告第 1050 號, 公告 13-3-18, 神奈川縣, 中原忠二) 鑛物は其介在夾雜物に由り電氣抵抗を異にする事實を巧に利用し之を精密に且つ工業的に區分選別することを得べからしむる目的を以て、廻轉盤上に石炭其他の鑛物塊を一個宛收容すべき受室を多數列設し該受室に筒線輪其他の電磁石にて作働せらるべき鑛物塊拋出桿を備へ廻轉盤が徐々に廻轉して一定位置に達するや自動的に鑛物塊に電流を通じて拋出桿に作動せしめ收受鑛物塊を排出し選別すべく構成せる鑛物電氣選別裝置。

**金屬マグネシウムの連續電解製造法** (13 年特許公告第 1078 號, 公告 13-3-23, 大連市, 南滿洲鐵道株式會社) 同一の電解爐に於て水和物の脱水と無水鹽の電解を同時に然も能率良く行ひ容易に且經濟的に金屬マグネシウムを製造せんとする目的を以て、輕鬆にして微粉狀の鹽化マグネシウム水和物を生成せしめ之を電解操業中の鹽化マグネシウム及鹽化アルカリ混合物より成る熔融電解浴に供給し此の水和物を浴の表面鹽素氣中に於て脱水し無水鹽を自然的に浴中に溶解せしめ以て電解に依り消費せらるゝ鹽化マグネシウムを連續的に補給することを特徴とする金屬マグネシウムの連續電解製造法。

**適當の氣孔度を有する苦土質鑄造耐火物の製法** (13 年特許公告第 1081 號, 公告 13-3-23, 東京市, 旭硝子株式會社) 兩苦土質結晶體の組合せを以て、組織的に安定にして然も多孔質構造を有し化學的には鹽基性乃至酸性の冶金鑛滓に對する被蝕抵抗を大ならしめ他方物理的には濾過の急變に對するスポーリング抵抗を増加せしめたる苦土質鑄造耐火物を得る目的を以て、苦土礬土及珪酸等を耐火性苦土化合物たるスピネル及びフォルステライトの一定混合比に相當するが如く配合し之を電融せる後迅速に冷却凝固せしむることを特徴とする適度の氣孔率を與ふべくす鑄耐火物の製法。

**繰返し張力及壓縮試驗機** (13 年特許公告第 1086 號, 公告 13-3-25, 東京市, 森末次二郎) 不平衡重錘を固定したる 2 個の回轉盤を互に反對方向に回轉せしめて該回轉盤に上下振動のみを起しめ此上下振動により振動桿を介して試験片に繰返し張力及壓縮の應力を與へ其の疲勞試験を行ふものにして其の應力の力量は不平衡重錘の重量と回轉盤の中心より不平衡重錘の重心迄の距離とに依り任意に定め得るを以て之を所要の程度に調整し且試験の開始時又は試験中に適宜振動の制止及調整を行ひ試験の適正を期すると共に機械に故障を生ぜしめんとする目的を以て、不平衡重錘を固定したる

2個の回転盤を互に反對の方向に回轉せしめて原動軸に縦方向の振動のみを與へ此振動を試験片取付桿に關聯せしめて突子に係合する挺桿を操作することにより試験片付桿の振動を任意制止し得べくし更に試験片の破斷と同時に此破斷作動を電磁閉閉器に作用せしめて電動機に至る回路を自動的に遮斷し得べくせる繰返し張力及壓縮試験機。

**煉炭製造法** (13年特許公告第1098號, 公告13-3-25, 川口市, 新村唯治) 地域的にピッチの供給容易ならざる地に於て安價に煉炭を製造する工業的方法を供する目的を以て, 石炭を溶劑に溶解せしめ灰分を除去したる溶液より溶劑を驅逐したるものを粘結劑として使用することを特徴とする煉炭製造法。

**コークスの製法** (13年特許公告第1099號, 公告13-3-25, 亞米利加合衆國,) ウルス, フェューエル, プロセス, コルポレーション) 加熱装置に於ける加熱管の閉塞を防止し且原料炭化水素中の揮發分を除きたる後之をコークス化室に導入することによりコークス化に要する時間を短縮し且品質優良なるコークスを得んとする目的を以て, 操作中に生じたる凝縮液は加熱装置は通過せしむる事により略850°F以上に加熱するもコークス化せらるべき豫熱せられたる流動性の炭化水素は前記加熱装置を通過せしめずして此等兩者を噴射蒸溜兼分溜帶域に導入してピッチ質残渣と蒸氣狀物質とを生ぜしめ該蒸氣狀物質を分溜し分溜の一部を抜き出し其凝縮液を前記加熱装置を通過せしむる事により其温度を略850°Fに上昇せしめ又ピッチ質残渣は之を加熱せられたる底面上に於て油が薄層をなして炭化せらるゝコークス化室に運び該室を外部より加熱してコークスと蒸氣とを生ぜしめ生成せるコークスは之を機械的に除去し蒸氣は前記噴射蒸溜兼分溜帶域に返還せしめ而して此蒸氣を該帶域に於て生ずる蒸氣と合して所望の生成物に分溜せしむることより成るコークスの製法。

**アルミナ磁器製造方法** (13年特許公告第1100號, 公告13-3-25, 東京市, 株式会社日立製作所) 質緻密にして耐水性並に高温度に於ける電氣絶縁性の改良されたるアルミナ磁器製品を得んとする目的を以て, 酸化アルミニウムを主成分とし之にベリリウム, ジルコニウム, トリウム, セリウム, 若くは亞鉛の酸化物及タングステンの酸化物を0.5~5.0%添加し濕式磨碎して得たる素地を以て成型し乾燥の後1,900°Cにて焼成することを特徴とするアルミナ磁器製造方法。

**材料試験機に於ける振子緩戻装置** (13年特許公告第1121號, 公告13-3-28, 東京市, 島田政明) 振子の急激なる復歸に因る

弊害を防止し而も正確に測定せんとする目的を以て, 振子を取付けたる迴動軸に直接若くは間接に關聯せしめたる吊垂搖動桿を設けて之に斜向板を装置し斜向板は油槽内に位置せしめ更に液體の抵抗又は彈簧等に依り下降容易にして上昇困難ならしめたる制御桿を前記吊垂搖動桿と接近せしめて装置し此の兩桿の相對する面に係合爪を装置して吊垂搖動桿が下降する場合には制御桿との關係を斷ち吊垂搖動桿が上昇する場合には油槽内の液と斜向板との關係に依り搖動桿を制御桿の方向に搖動せしめて吊垂搖動桿を制御桿に係合せしめて振子の急激なる復歸を阻止すべくしたる材料試験機に於ける振子緩戻装置。

**電氣化學的鐵鋼酸化膜除去法** (13年特許公告第1135號, 公告13-3-28, 陸軍大臣) 簡單にして壽命長き電解液を用ひて完全且經濟的に鐵鋼酸化膜を除去せんとする目的に於て硫酸にゼラチン等の膠狀物質を加へたる溶液を使用し錫と共にシルミン等の珪素含有金屬を陽極とし被處理鐵鋼を陰極として電解し鐵鋼の酸化膜を除去すると共に之に錫を電着せしめたる後アルカリ溶液にゼラチン等の膠狀物質並にチオ尿素誘導體等の安定劑を添加したる浴中にて之を陽極とし錫を陰極として電解することを特徴とする電氣化學的鐵鋼酸化膜除去法。

### 特許拔萃

特許番號	名 稱	特許權者	鐵と鋼
123633	マグネシウム又は其合金の防銹法	東京工業大學々長	第23年, 12號
123710	フェロモリブデン製造方法	三菱鑛業株式會社	第23年, 6號
123718	天然産硫黄より殆ど純粹なる結晶態硫黄を採集する方法	財團法人理化學研究所	なし
123726	銅及銅合金管の内面鍍金方法	住友金屬工業株式會社	第23年, 12號
123743	ニッケル基合金より成る電子放射體の芯	インターナショナル, スタンダード, エレクトリック, コーポレーション	第23年, 11號
123752	アルミニウム表面鏡製造方法	遞 信 大 臣	第23年, 12號
123760	無酸硫黄精煉法	上 坂 忠 次	なし
123783	アルミニウム基合金	アルミニウム, リミテッド	第23年, 12號
123813	磁歪性合金	株式會社北辰電機製作所	第23年, 12號
123843	活性微粉鉛の製造法	日本曹達株式會社	第23年, 12號
123879	バイメタルの改良	金屬材料研究所長	第24年, 1號